

■発行 京都府向日市役所
■編集 秘書課広報係
■電話 075(931)1111

向日市

おもな記事

- ことしのまちづくり予算決まる
- 昭和四十九年度予算のあらまし(一・二ページ)
- 市で初のセーフティクラブ発足
- 母子の交通安全教室(三ページ)
- 光化学スモッグ(三ページ)
- 出張サービスします(三ページ)
- 五月のお知らせ(四ページ)

ことしのまちづくり予算決まる

暮らしを守る施策を推進

一般会計総額二十一億八千七百六十万円

新年度予算が決まりました。ことしの予算は、昨秋以後のモノ不足、物価の高騰などインフレ進行下の中の抑制予算となつていきます。しかし、このような経済情勢をふまえて、人間性豊かなまちづくりを推し進めるため、日常生活に結びついた積極施策で、計画的に取り組んでいきます。

引締め策などで総需要抑制の予算編成となつていますが、これに伴って、市の財政に与える影響は大きく、行政運営をきびしくしていきます。しかし、このようなきに、市民生活を守る施策を重点的に推し進めなければなりません。

こうした場合、ことしの予算の編成は、(1)教育文化の向上と福祉の充実、(2)暮らしの周辺の環境整備、(3)市民の健康を守り高めるの三本を柱にして、市民生活の向上と住みよいまちづくりを、計画的に取り組んでいきます。

ことしのおもな施策は、まちづくりの実施計画を基に、都市施設に欠かすことのできない都市下水道の促進、都市公園の整備、第五向陽小学校の建設と既設小学校の増設、市民を火災から守るための化学消防車の購入、生活道路舗装、

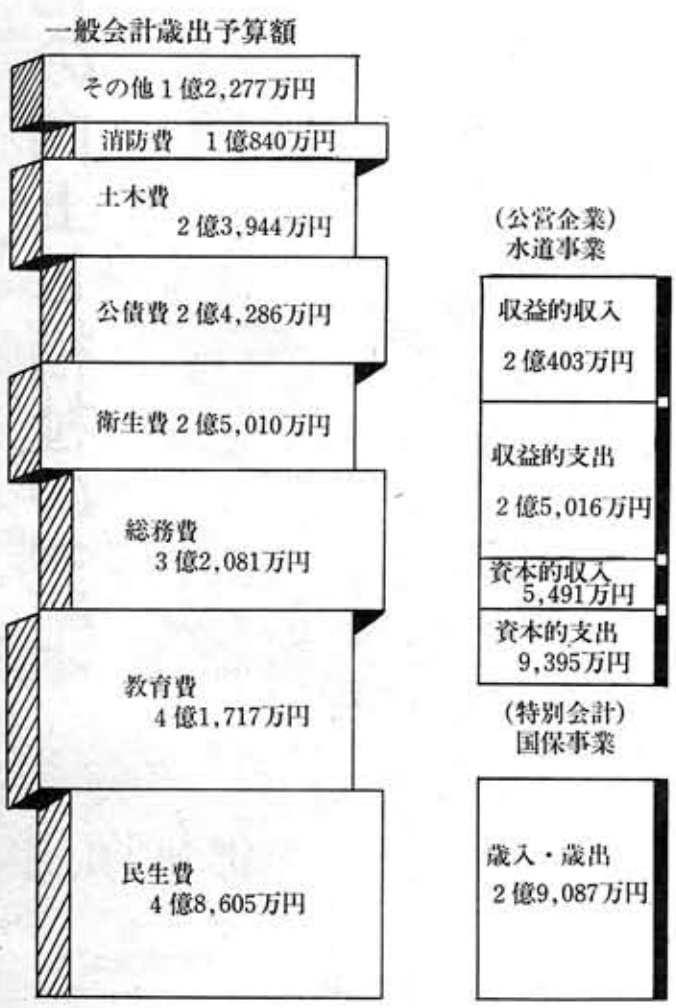
河川・排水路の整備、交通安全対策、成人病検診の無料化、老人医療の無料化、勤労者住宅融資制度の融資枠の拡大など、日常生活最優先の施策で、推し進めていきます。

予算規模は、一般会計二十一億八千七百六十万円、特別会計国民健康保険事業二億九千八百七十四万円、公営企業会計水道事業収益的収入二億四千三百三十三万円、同支出二億五千四百九十二万円、同支出九千三百九十五万円となつていきます。

一般会計では、前年度当初予算と比べて、四億千八百六十万円の増、二三・七パーセントの伸び率を示しています。

3本の柱に

地方財政のひっ迫化が叫ばれ久しいものがあります。が、昨秋以後の物価騰貴、エネルギー危機などにより、ことしの国の予算において、公共投資の抑制、金融



予算の編成にあたり



向日市長 中山仙三

人間性豊かなまちづくりを

わたしが再選されたのは、限られた財源を有効に活用して、市民の行政から、早くも三年が業の着手、市民会館の建設への期待に応えるため、市民の生活に結びつく施策を推し進めていくことに決意です。

本年の予算は、清潔で明るい、住みよい市政を基に、

◎教育文化の向上と福祉の充実
◎暮らしの周辺の環境整備
◎市民の健康を守り高める

の三つを柱としました。どうか市民のみなさんのご協力をお願いします。

民生費がトップ

歳出の構成比をみてみると、民生費が二三・七パーセントとトップを占め、教育費一九・一パーセント、総務費一四・七パーセント、衛生費一一・四パーセント、公債費一一・一パーセントと続きます。

土木費一〇・九パーセントと割合を示しました。この増となり、市の事業の元利償還が多くなつてきているのが二・八パーセントの減のためです。

また、性質別のうちわけでは、人件費が三八・七パーセント、普通建設事業費一七・三パーセント、物件費一三・〇パーセント、公債費一一・一パーセント、補助費一・〇・六パーセント、扶助費七・五パーセントとなつていきます。

事業を行なう市の台所下している現状です。(財源)をみてみましょう。市税では、個人市民税と小規模宅地に対する固定資産税の減税、総需要抑制策による市債の減少などにより、市の財源を苦しめています。

市債十三億四千七百七十三万円、国庫支出金二億八千七百六十六万円です。

歳入の内訳

事業を行なうときに、それが減少しますと、自己財源で事業を進めなければなりません。

そのほか、国・府からの補助があるもの、公共投資の抑制、資材の高騰などにより、財源の弾力性が低

苦しい市の台所

市債が減少

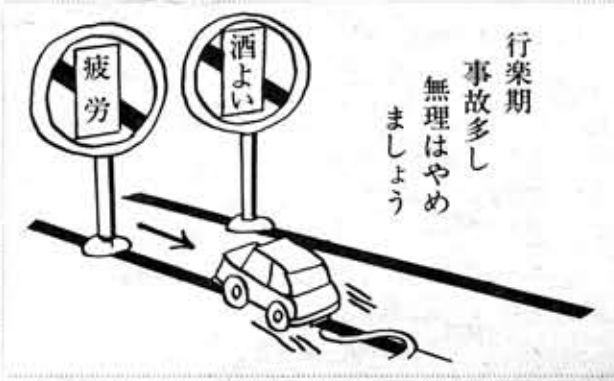
千五百九十万円、地方交付税二億五千万円、府支出金九千七百四万円、市債四千五百二十万円、使用料・手数料三千六百五十万円、分租金・負担金三千二百九十七万円など、総額二十一億八千七百六十六万円です。

“行楽期に事故多し”



山々が新緑に囲まれ、行楽地はマイカーでいっぱい。家族そろってのドライブも気持ちがかれがちです。

そこで、ちょっとした気持ちのゆるみから、交通事故魔がしのびこんできます。交通安全で楽しいドライブをして下さい。



＜市交通対策協議会＞